

High aspirations

～ 高 志 ～

進路だより第2号

2020年8月24日(月)

佐賀県立武雄青陵中学校 総務部

●探究、研究発表

1学期、各学年が取り組んだ「探究」について紹介します。

1年生は住んでいる地域の研究と発表。2年生は職業について調べて、レポートにまとめる。3年生は「国際探究」と「自然探究」のどちらかを希望選択。その後、「国際探究」は「方言」「アニメ」「和楽器」などテーマを各自で調べ、7月中旬に英語で発表をしました。一方、「自然探究」は各生徒が研究する内容を決めて実験を行い、研究成果の発表は10月頃となります。また、他にも3年生は持続可能な開発目標（SDGs）についても調べています。その発表も7月中旬に行いました。



大学入試には「小論文」の出題があります。以下、いくつかのテーマを紹介します。

- ・プラスチックゴミによる海洋汚染について国、企業、市民がすべきことは何か。（大分大・経済）
- ・AIにより便利なるが、支配されるという考えについて自分の意見を述べよ。（静岡県立大・国際関係）
- ・持続可能な開発目標（SDGs）による今後10年間の実行で地球と人類の命運が決まるという主張についての考えを書く。
(釧路公立大・経済)
- ・世界を悪い方向から見ず、事実を正しく見る必要があるという考えについて、自分の考えを英文で書く。
(筑波大・比較文化学)
- ・持続可能な開発目標（SDGs）の表から農業が貢献できる目標について課題とその理由を述べる。（宇都宮大・農学）
- ・社会が抱える問題点について自分ができていることを挙げて、考えを述べる。（鹿児島大・看護）
- ・宮崎県への県外観光客の満足度についての表を見て、知事として観光客増加に行う取り組みについて述べる。
(宮崎公立大・人文)
- ・スイーツという言葉の定義を論じた文章から、最近流行している新語についての考えを述べる。（長崎大・教育）
- ・日本のエネルギー問題の現状について書かれた文章と図を見て、新エネルギーのメリットとデメリットについて、自分の考えを述べる。
(東京海洋大・海洋資源環境)

これらの内容は今、「探究」で取り組んでいる内容と通じるところがあります。小論文は事実を通じて、自らの考えをもち、テーマに対しての解決方法や考えを述べることとなります。その考えが独りよがりにならず、別の立場の意見を踏まえた上での主張となります。それは大学で求められる力であり、同時に社会でも役に立つ力です。みなさんの「探究」はしっかりと調べられていますが、自分の意見については少ないようです。事実だけの発表・レポートは残念ながら、他の人も作るができます。しかし、自分の考えを加えると他の人がまねできない自分ならではの発表・レポートとなります。そこが評価の対象となりますので、2学期の「探究」では、その点を意識して取り組んでくれたらと思います。

●憧れの目標を見つけよう。～学校案内の利用について～

みなさん、学校案内（学校パンフレットとも言います）を知っていますか？学校案内とは大学や短期大学、専門学校などが自分の学校について紹介する冊子です。資料請求すれば、誰でも入手できます。（国公立大学は送料がかかりますが、私立大学、専門学校は一部を除いて無料です）また、多くの学校では夏のはじめぐらいに学校案内が完成します。学校案内はその学校の情報にあふれています。以下、「学校案内」の見方を説明します。

○「学校案内」の見方

・最初の方のページ

最初の方のページは誰もが開くページだけにどの大学も力を入れています。そこには大学のアピールしたいことや特徴、どのような学生を育てるのか、どのような生徒を求めているのか、その大学がどのように社会と関わるかなど。特に伝えたいことが詰まっています。ここからどのような学校かがわかります。

・学部・学科や研修、学習プログラムの紹介のページ

各学部や学科について、教授や学生の声や授業科目や時間割、留学制度やフィールドワークなどが書かれています。ここから何を学ぶかがわかります。

・施設の説明やサークル、交通手段のページ

図書館やパソコン設備など学習環境が整っているか、学食や売店、交通の便などの利便性はどうか。実際の学生になったつもりでキャンパスライフを想像してみましょう。

・資格・卒業先の進路・授業料・奨学金のページ

卒業先の進路や資格のことを調べることも大事です。ただ、この箇所は資格の取得率や就職率が高いように見えるデータを選んだりしていることがあります。疑問に感じたら先生などに相談をしましょう。また、授業料や減免制度や奨学金も確認しておきましょう。

東京のある有名私立大学は文章が難しく、その文章がきちんと読める学生を求めていると聞いたことがあります。多くのみなさんが何年後かはどこかの学校で学んでいると思います。まだまだ先の話と考えず、知っている大学の学校案内を取り寄せてみてはどうでしょうか？

●大学紹介

高校進学後、大学を視野に入れている生徒が多いと思います。そこで実際に進学した卒業生の話を生徒のみなさんにわかりやすくインタビュー形式で紹介したいと思います。

○佐賀大学 医学部 看護学科

Q) 佐賀大学の紹介とどのようなことを学んでいるか、教えてください。

A) 佐賀大学は本庄と鍋島、2カ所にキャンパスがあります。医学部だけが鍋島にあり、私はそこで学んでいます。

大学は看護の学問（専門）と広い考えを身につけるために看護とは違う学問（一般教養）を学びます。看護とは何か、基本的な概念を学ぶために近代・現代の代表的な故人の看護理論の本を読んでレポートを書いたり、看護役と患者役に分かれて、体を拭いたり、血圧を測ったりもします。また、医療現場を知るために病院や老人ホームに出かけてシーツの交換の技術を学びます。私たちはグループワークが多く、色々な人と話す機会も多く、コミュニケーション能力が養えます。大変な日々が続きますが、一步一步、夢に近づいている実感があり、頑張ることができます。

Q) 佐賀大学で部活動は何をしていますか。

A) 私はダンスに興味があったのでチアリーディング部に所属しています。最初は慣れるまで大変でしたが、先輩や同学年の友達が丁寧に教えてくれます。本番のステージでは衣装を着て、ボンボンを持ち、メイク・ヘアもばっちりにして踊ります。本番、うまく踊れたときは大きな達成感や喜びを感じます。先輩とも関わるので縦と横とのつながりがもてます。

Q) 最後に一言。

A) 大学は今までと違った考えの人もいて、すごく刺激的です。また、自分のやりたいことを見つけて行動すれば、中学や高校では得られない充実した生活を送ることができます。みなさんも頑張ってくださいと思います。